



講師の(株)ミライロ・日本ユニバーサルマナー協会 田崎さん



1

“人と違う”は価値ある個性

性的マイノリティについて考える「LGBT講演会」が友部公民館で開催されました。近ごろ、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとった「LGBT」という言葉を耳にする機会が多くなりました。講演会では、LGBTの基礎的な内容から性的マイノリティの方への配慮や接し方などを学び、誰もが違いを認め合うことの大切さや多様な生き方について理解を深めました。何がよいと思うかは人それぞれ。自分の個性を素直に楽しめる環境をみんなでつくっていきましょう。

12/18

2

常磐大学生と笠間を語る

常磐大学で市長と学生が笠間について語り合う市政懇談会が開かれました。参加したのは、笠間市在住の常磐大生10名。「カフェも増えて、行きたい場所も増えてきたけど、アクセスが大変。」「犬猫殺処分ゼロのために猫カフェを作ってはどうか。」など、若者の視点から様々な課題について、市長と話し合い有意義な時間となりました。

11/28

3

原子力災害対応訓練

笠間市原子力災害対応訓練を、県や関係機関と合同で実施し、市民を含め約100名が参加しました。東海第2原発での不測の事態を想定して行われ、検査や除染の手順など課題を探りました。山口市長は「想定外に対応するために訓練を行うことで、災害時の対応イメージを持つておくことが大切であり、避難計画の実効性を高めていきたい。」と話しました。

12/21

4

クリスマスの寄付

有限会社三共金属工業所から寄付をいただきました。自動車部品や建築物等を、金型製作からプレス加工、完成品まで一貫して生産している三共金属工業所の鈴木社長は「クリスマスプレゼントとして、子どもたちのために役立ててください。」と話しました。寄付金は、一人親家庭の新小学1年生や遺児の子どもたちの支援等に活用させていただきます。 ※有限会社三共金属工業所は市ががんばる企業応援連絡会に参加しています。

12/25



三共金属工業所の皆さん



訓練での検査の様子



懇談会に参加した常磐大学生の皆さん



右から藤崎課長、山口市長



島田さん



NPO 法人やみぞの森の役員のみなさん

7

動物愛護に対する寄付

12/3

太陽光発電・オール電化・蓄電池等の専門会社である株式会社エイジー・ジャパンから、チャリティゴルフで集められた寄付をいただきました。
法人営業部の藤崎課長は市長へ目録を手渡し、「動物愛護のために役立ててください」と言葉を述べました。いただいた寄付金は、大切に使用させていただきます。

6

令和にはばたく子どもたちへ

12/19

市内在住の木彫師、島田幸作さんより地域交流センター「あたご」に作品が寄贈されました。
大きく翼を広げた鷲の力強さと、元気な子どもたちの姿が彫り出された作品は、力強く未来に向かって羽ばたく姿を表現した躍動感にあふれるもので、ヒノキの間伐材を利用し、約1か月かけ丹念に制作されました。

5

観光拠点にベンチを寄贈

12/19

水戸市のNPO法人やみぞの森から、かさま歴史交流館井筒屋へ木製ベンチが寄贈され、市長から石川多聞理事長へ感謝状が贈られました。
このベンチ寄贈は、普段森林と触れ合う機会の少ない方々にも木の良さを体感し、木材の活用方法への理解を深めていただけるよう行われているものです。ヒノキの間伐材を使用して作られた温かみのあるベンチが4基、新たに設置されていますので、お立ち寄りの際はぜひご利用ください。

9

ロボットコンテストでみなみ学園が二連覇

11/17

「いばらきものづくり教育フェア」のなかで行われている「いばらきロボットコンテスト」で、みなみ学園義務教育学校9年生の中沢優人さん、青木聖弥さん、富田陸さんの3名が優勝し、昨年に続く二連覇を果たしました。
コンテストは、授業で使用しているロボットを使い、ゲートを通り抜け、課題のコースを走破するもので、参加チームの中で唯一制限時間内にクリアしました。また、プログラムやプレゼンの発表もあり、総合点で1位を獲得しました。

8

地域防災を担う消防団・第5 & 第8分団

12/21

第5分団及び第8分団への新たな消防ポンプ車の貸与式が、消防本部で行われました。
山口市長は「市民の安全・安心の確保と被害を最小限に防ぐことが、皆さんに課せられた最大の使命。災害出動時には空間市民のために力を発揮していただきたい。」とあいさつ。
団員の皆さんは、資機材の取り扱いや注意点を確認したあと、老朽化した旧車両から新車両の乗り替えを行いました。



(左から) 中沢さん、青木さん、富田さん



第5分団(左)、第8分団(右)の分団員の皆さん